

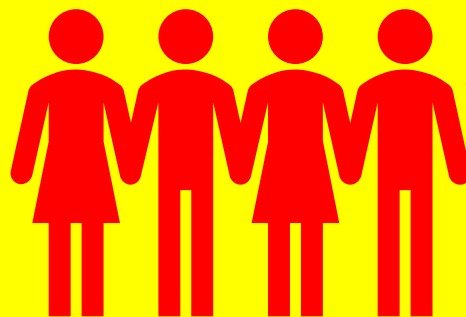
心理的安全性とリスクマネジメント



1. 心理的安全性とは

心理的安全性の高いチーム

安心して、発言や行動ができる
チーム内で意見が言い合える
積極的に発言できる



失敗を恐れず挑戦できる
新たなアイデアが生まれる
個人・組織（病院）の成長になる

本人を否定しない
人間関係に影響しない心理的安全性が確保されている

実例



「この患者への投薬量は多すぎるのではないか？」

夜遅かったため医師への電話を思いとどまってしまった・・・

「これってどういうことなのでしょう？」と緊張せずに聞ける「雰囲気」と「環境」

「こういうやり方はどうなのでしょう？」と気軽に提案できる「空気感」

「心理的安全性」が高い状況

2. 心理的安全性に対するイメージリスク

~~「これを言ったら怒られるかもしれない」
「これを言ったらどんな反応が返ってくるかわからなくて怖い」~~



「私は〇〇について、こう思うのですが」
「私は〇〇と感じたので、□□をしたいと思います」

心理的生産性

自らの意見・気持ち・想いを気兼ねなく発信できること

「心理的安全性が低い」場合に起こりがちな「4つのリスク」



- (1) 無知だと思われる不安
- (2) 無能だと思われる不安
- (3) ネガティブだと思われる不安
- (4) 邪魔する人だと思われる不安

(1) 無知だと思われる不安	わからないことがあっても質問しない、訊かない。
(2) 無能だと思われる不安	間違いや弱点を認めない。
(3) ネガティブだと思われる不安	言うべきことを言わない、批判や反対意見を言わない。
(4) 邪魔する人だと思われる不安	意見やアイデアを言わない。

「自然と気兼ねなく意見や気持ちを伝えられる」
「心理的安全性が高い」

